

総務部総務課長  
兵頭 章夫 様

生活福祉部  
健康づくり推進課長 松本 豊和

会 議 要 録

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 名 称      | 令和5年度 第1回 西予市自殺対策推進協議会   |   |
| 開 催 日 時  | 令和5年8月22日(火) 15:30~17:10   |   |
| 開 催 場 所  | 西予市役所 5階会議室2、3   |   |
| 出席者      | 自殺対策推進協議会委員  | 会 長 宗 正弘<br>副会長 織田 英昭<br>委 員 谷村 千里(代理)、河野 聡樹(代理) 山本 敦子、<br>伊井 彰(代理)、中山 龍太郎(代理) 松友 庸治、<br>山岡 薫彦(代理)、高石 徳香、正司 弘<br>計11名 |
|          | その他  | 八幡浜保健所 浅海保健師<br>法テラス愛媛法務事務所 司法修習生   |
|          | 事務局  | 部長：一井 健二<br>松本 豊和、宇都宮弥生、宮本 美紀、菊地 紫帆   |
| 議事内容(要旨) | <p>1. 開会(司会：健康づくり推進課 宇都宮師長)</p> <p>2. 開会あいさつ(宗会長)</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 議事</p> <p>議事(議事進行：会長 宗)</p> <p>(1) 西予市自殺対策計画の進捗評価について<br/>パワポ資料1：宮本(20分)</p> <p>【西予市民生児童委員協議会】</p> <p>① 生きる支援関連施策の各課事業進捗状況評価について、「実施している」が78%、「実施に向けて検討必要」が15%、「実施なし」が7%ある。実施していない事業に対しての働きかけについてどのような対応をしているのか。<br/>→「実施なし」の事業については、パンフレットやリーフレッ</p> |   |

トについて最初は設置できていたが、最近出来ていないという状況があった。また、評価指標に上がる対象者がおらず、実施なしという回答もあった。今年度は評価指標の見直しも行い、実施していきたい。

② 自殺の特徴「1位男性 40-59歳の有職者・同居者、状況は配置転換や過労、職場の人間関係の悩み」が上がっており、西予市内で働き盛りの方が自殺している状況。働き世代に対して取り組んでいることがあれば教えてほしい。

→50歳を対象にしたこころの健康調査に加え、昨年度はフジの従業員向けにこころの健康教育を実施した。今年度は商工会役員を対象に実施予定。働き世代への健康教育も継続していきたい。

## (2) 関係機関の現状報告

### 【八幡浜保健所】

・自殺未遂者相談支援では、二次救急医療機関や精神科病院と連携して未遂者やその家族に対する相談支援を強化する体制づくりを行っている。相談に繋がった方に丁寧に関わっていく体制は継続していく。

・昨年度の社会的ひきこもり対策は、管内の他市にて民生児童委員を対象に実施。その取り組みを今年度、西予市でも実施予定。

### 【西予市養護教員部】

・学校保健委員会はコロナの影響により書面開催等、開催を見合わせた学校もあった。野村小学校では、参加の枠を広げて、保護者対象に傾聴のペアワークを実施している。保護者への啓発にとって良い機会なので今後も実施を継続したい。

・児童生徒のSOSの出し方に関する教育では、野村小学校をモデル校として様々な取り組みがあった。6年生の授業については養護部会にも公開があったため、参加して研修を行うことが出来た。中学校については、東京都が公開している授業を参考に実践を行っている。どの学校でもSOSの出し方教育に取り組めるように指導案のパッケージを養護部会で作成し、各校に配布している。今後はパッケージを基に授業が勧められる予定。

#### 【西予警察署】

・市民からの相談には24時間対応しており、自殺に関連する相談も受付している。各学校や高齢者の会合等でも個人的な悩みがあれば何でも相談してほしいことを周知している。自殺未遂後、警察が介入することが出来ないが、経済的な理由や疾患を理由として自殺未遂に至った事例もあるため、その後のフォローについて協力をお願いしたい。

#### 【八幡浜公共職業安定所】

・雇用情勢が急激に悪化した場合には自殺者も増えているということがあると思う。生活保護受給者等、就労自立促進事業は西予市や西予社会福祉協議会と連携して就労支援を実施している。令和5年度以降も支援対象者が14名、就職者数9名を計画している。障害を持つ求職者や生活保護受給者等については、状況によって関係機関にも繋ぎながら支援していきたい。

#### 【ねっと work ジョイ】

・令和4年度の前半は低調で、職場実習がコロナの影響で受け入れてもらえなかった事業所が多かった。後半、法定雇用率の引き上げが発表されてから、かなりの勢いで雇上げを希望する事業所が増えた結果、例年通りの実績となった。

・SNSの影響で精神的に不安定となり、就労定着に繋がらないこともある。SNSの使い方や交友関係等、広い意味で各関係機関と連携しながら支援をしていきたい。

#### 【西予市社会福祉協議会】

・生活課題が多様化して複雑化し、深刻化する中で高齢者が社会的に孤立することで自殺に追い込まれることがないようにきめ細やかな支援が必要ということで各種事業に取り組んでいる。

・全国的に課題となっている新型コロナウイルスの影響で収入が減った、もしくは失業等によって生活を維持することが出来ないという人に対して特別貸付制度が出来ている。最大で200万円の貸し付けを行ったが、今後償還が出来るのかということが全国的な課題になっている。フォロー体制をしっかりとっていくこと、生活を支えていくことが自殺対策にも繋がるため、きめ細かな相談体制を整えたい。

(3) 西予市の課題と第2次西予市自殺対策計画について  
パワポ資料1：宮本（5分）

勤務・経営について

【西予市商工会】

・商工会は中小事業所が対象。会員以外も含め、経営相談・改善、事業承継、廃業手続きの支援を行っている。愛媛県と統一的な取り組みとして事業承継の実態を聞く、個別に支援していくことを重点項目としており、目標数値を掲げながら着実に進めている。事業承継や廃業は専門的な分野になるため、弁護士を含む専門家の協力を得ながら対応している。今後も着実に進めていきたい。

無職者・失業者について

【八幡浜公共職業安定所】

・雇用情勢としては、人手不足感が強い。企業が人を雇えなくて困っている。人手不足感が強い割には求人の出方が弱い印象もある。職を必要している人は一定数いるため、支援に力を入れて行きたい。その過程で自殺対策にも繋げていきたい。

【ねっと work ジョイ】

・相談に来られる方の状況は様々だが、軽度障がいにより、身体的な負担があって働けないが制度的なものは利用できず、非常に苦しいという人もいる。その方たちにどのように支援していくか。経済的にも精神的にも厳しい状況に陥りやすい。医療機関や関係機関との連携、地域の中で負担なく働けるような仕事作りが必要。

司法の立場から

【法テラス】

・法テラスでは民教法律扶助に基づく無料相談を実施している。これには収入要件があるため、必然的にお金のない方の相談が多くなる。

・法テラスへの相談、収入要件を満たしている場合には無料で3回まで法律相談が可能。代理人が相談を受けることは出来ないため、本人自ら相談を。

・福祉機関や医療機関で働いている職員が、利用者等の支援をしている際に法律的な問題がありそうと思った際に、法テラス連絡をしてもらえれば助言可能。

|     |              |
|-----|--------------|
|     | 8. 閉会（織田副会長） |
| 備 考 |              |

年度 2018年度～

カテゴリ 行政一般

審議会名 西予市自殺対策推進協議会

公開開始日

審議会の概要

西予市自殺対策推進協議会は、自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体等が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図るため、設置されている。西予市社会福祉協議会会長を会長、西予市医師会長を副会長とし、愛媛県八幡浜保健所をはじめとする計14名をもって構成する。会議は会長が招集し、自殺対策推進に関する事項について協議する。